

2020年11月10日

親愛なる読者、

ロンドン・ブリード市長と保健局長のグラント・コルフックス博士は**本日**、サンフランシスコでのCOVID-19感染率の大幅かつ急速な増加により、市が再開を調整すると**発表しました**。市は一時的に屋内ダイニングの再開をロールバックし、フィットネスセンターと映画館の容量を減らします。さらに、サンフランシスコは、まだ開校していない高校での屋内指導の再開を一時停止します。これらの変更は、**2020年11月13日金曜日の午後11時59分に有効になります**。

次のアクティビティは、追って通知があるまで屋内操作を停止します。

- 独立したレストラン、ショッピングセンターのフードコート、ホテル、美術館、その他の場所の飲食店など、あらゆる状況で食事を提供するレストランやバーでの屋内ダイニング。

次のアクティビティは、追って通知があるまで一時停止します。

- 承認された計画でまだ開校していない高校。（特定のパラメーター内で屋外命令に切り替える）。

屋内で最大50人まで収容人数を減らすには、次のアクティビティが必要になります。

- フィットネスセンターは、定員が25%または50人（100人から減少）のいずれか少ない方に開放されたままになる場合があります。
- 映画館は、収容人数の25%または50人（100人から減少）のいずれか少ない方に開放されたままになる場合があります。

現在許可されている他のすべての事業および活動は、現時点で引き続き運営される可能性があります。

屋外での食事とテイクアウト、小中学校、オフィス、小売店、個人的なサービス、美術館や水族館などの文化的および家族的な活動。

このロールバックは、すでに薄く伸びている企業の収益の損失を意味します。直接影響を受けるこれらのビジネスをサポートするために、市長は次のプログラミングを通じて400万ドルを捧げています。

- ヒーターなどの冬季増築の料金を含む、影響を受ける中小企業の税金と料金を免除するために250万ドルが利用可能になります。参加方法の詳細は近日公開予定です。
- 500,000ドルは、小規模な近隣サービスを提供する企業が屋外で営業するレストランの共有スペースを設定および拡張するための技術支援と資本コストを支払うための共有スペースエクイティ助成プログラムを通じて利用できます。このプログラムの詳細については、近日公開予定です。
- 社会的距離の要件を満たすために、レストランが機器を購入し、スペースを再構成するために、SF Shines for Reopeningを通じて500,000ドルの助成金が利用可能になります。詳細については、link.oewd.org/sfshinesをご覧ください。
- \$ 500,000 SF HELPを通じて低および中等度のゼロ金利ローン利用できるようになります-固定費のために支払うためにクレジットをほとんどアクセスと利益レストランオーナーの在庫、およびその他の営業費用。詳細については、link.oewd.org/zeroloanをご覧ください。

市は、エアロゾルの濃度を高めるリスクの高い屋内活動やその他の行動に焦点を当てることにより、ウイルスの拡散を抑えるためにこれらの活動をロールバックしています。10月2日以降、サンフランシスコでは

COVID-19の症例が250%増加しています。公衆衛生局は、市の症例数、感染率、入院率を引き続き注意深く監視して、曲線を平坦化できる時期を判断し、安全な再開をいつ再開できるかを判断します。市は、サンフランシスコ市民が集会を避け、家を出るときに顔の覆いを着用し、他の人との距離を保ち、気分が悪い場合はCOVID-19の検査を受けることを強く推奨します。

サンフランシスコの再開タイムラインの詳細については、<https://sf.gov/step-by-step/reopening-san-francisco>をご覧ください。

するには、**日付まで滞在**COVID-19関連の発表やリソース上で、当社の電子ニュースにサインアップ <https://sfosb.org/subscribe-small-business-e-news>。

連帯して、

中小企業のオフィス